

平成30年度 西東京市市民協働推進センター事業報告

西東京市市民協働推進センター（以下、センターという）は、開設された平成21年3月より3期連続して西東京市社会福祉協議会が受託してスタッフ6名で運営している。（毎日10時～19時開館で毎週日曜日および年末年始は閉館。）

重点事業の「地域活動紹介ゆめサロン」では、地域で活躍を始めるための情報提供として近隣のシニアプログラムの活動を紹介します。市民参加を促す意識啓発を行った。「協働のまちづくりワークショップ」では市民活動団体、行政、企業、自治会など多彩なメンバーの参加により男女共同参画の視点から協働による課題解決について学ぶ機会を提供することができ、好評を得た。「NPO市民フェスティバル」はアスタセンターコートに会場を移して4回目の開催となり今回も1000人を超える来場者があった。「まちづくり円卓会議」では、多様な立場から意見交換を行ったことにより課題を多面的に理解する場となった。センター開設から10年間、市民活動・地域活動に対する市民の関心・参加意欲を促す事業に取り組んできることにより、市民の多様な活動とまちづくりにとって不可欠な存在になりつつある。

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
【重点事業】 広報・PR事業	センターの役割や機能、活動内容を広報・PRしてセンターに対する市民活動団体、市民の認知度向上及び利用者の増加を図る。 <下半期> ○NPO市民フェスティバル <通年> ○機関紙の発行 ○利用促進事業 ○広報戦略の実施	<p>① NPO市民フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実行委員会を開催(全9回) ○参加団体説明会を開催 (9/29 参加団体21) ○直前説明会を開催 (1/12 参加団体32) ○第10回NPO市民フェスティバル開催 (1/19, 20 参加団体74) ○NPO交流会開催 (1/26 参加団体19) <p>② センターの広報・PR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○機関紙「ゆめこらぼ通信」の発行 機関紙の発行(4・6・8・10・1・3月号、各号1000部) デザイナーとの意見交換(5/2) ○ホームページ、SNSの運営 ○出前展示の実施 駅前フェスタ2018で展示(9/22) (主催・場所：保谷駅前公民館) こそだてフェスタ(9/30) (主催・場所：西東京市、こそだてフェスタ実行委員会・きらっと) ○利用促進品の配布(1月19日、20日) <p>③ タウン通信にゆめこらぼ紹介の広報掲載(新規)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内全域での認知度向上を図る 10周年を踏まえ、これまでの歩みとともにゆめこらぼの紹介をタウン誌に掲載予定 <p>④ 他団体・組織イベントでの連携</p> <p>広報・PRに協力してくれる団体・企業・施設を拡大</p> <p>⑤ ホームページの機能改善(新規)</p> <p>コミュニテイコム打ち合わせ(10/2, 11/5)</p>	<p>① NPO市民フェスティバル</p> <p>6月より実行委員会を立ち上げ企画を検討、参加団体説明会、直前説明会を経て1月19日、20日に「第10回NPO市民フェスティバル～人も元気 地域も元気 あなたとつくる市民の輪！！～」を開催した。両日の来場者数は1,219名あり、展示、ステージパフォーマンス、プレゼンテーション、ワークショップ(似顔絵、工作等)を行った。今後も一般市民へのアピールを継続し、市民活動への理解や参加を提起し続ける必要がある。 同時開催の「地域活動・スタート説明会」は10名の参加があり今後の活動へ繋げていく。</p> <p>② センターの広報・PR活動</p> <p>機関紙「ゆめこらぼ通信」6月号より用紙を変更。また10周年の特集として56号から59号にゆめこらぼの理念とゆめこらぼのこれからのシリーズで紹介。事業内容の広報を充実させるため、偶数月発行を10月までとし31年より奇数月で発行することとなった。 駅前フェスタ2018とこそだてフェスタに参加し、出前相談と展示によるゆめこらぼの紹介を行い、市民や市民活動団体へ認知度の向上を図った。 今年度はNPO市民フェスティバル実行委員主体で利用販促品(ハートバック)200個を作成しフェスティバルで配布した。</p> <p>③ タウン通信にゆめこらぼ紹介の広報掲載(新規)</p> <p>予算の関係で掲載には至らなかったが、出前展示やイベントでの地道な広報を行った。</p> <p>④ 他団体・組織イベントでの連携</p> <p>イベント情報の配布先(三幸タクシー、中川動物病院、田中葬祭)の拡大を図った。企業と具体的に地域連携が取れるような関係を作ることが課題だ。</p> <p>⑤ ホームページの機能改善(新規)</p> <p>イベントの絞り込み機能(カテゴリの分類、表示)の追加・スタート月(表示)の変更をし機能改善を行った。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>情報収集・提供事業</p>	<p>現在活動している市民活動団体の情報及び市民活動に関連する情報を集約・発信して、市民活動に関する市民の理解や認知度の向上、市民参加の促進を図る。 <下半期> ○団体紹介冊子の発行 <通年> ○市民活動団体の情報収集・提供 ○市民活動に関する情報収集・提供</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供 ○団体の取材・活動紹介・ホームページ紹介(12団体、通算112団体) ○ホームページで団体のイベント情報を発信(630件。ほぼ毎日発信) ○チラシ「イベント情報」の毎月発行(約1000部配布) ○団体のパンフレット、機関紙をホームページで紹介 ○NPO市民フェスティバルに合わせて団体紹介冊子を1000部発行</p> <p>② 支援情報の収集・提供 ○助成金情報等をホームページに掲載(随時)</p> <p>③ 市民活動に関する情報収集・提供 ○近隣7市情報連絡会参加(8/2、1/31) ○日本NPOセンター主催のCEO会議に参加(7/26・27、2/14・2/15)</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供 ホームページのアクセス数は38,987件、市民活動に対する認知度の向上に寄与することができた。 団体のパンフレット、機関紙をホームページで紹介することで、団体が積極的に持ち込むことが多くなった。</p> <p>② 支援情報の収集・提供 団体の依頼があり、推薦文での助成金申請の協力を行った。</p> <p>③ 市民活動に関する情報収集・提供 近隣7市情報連絡会※でグループウェアの活用など情報交換。CEO会議で個人情報保護法改正、休眠預金活用法検討状況等の情報を収集した。今後は休眠預金等活用法施行など社会状況を踏まえ情報の収集・提供を行う必要がある。 ※ 小平市、八王子市、日野市、府中市、三鷹市、調布市と西東京市の7市の中間支援組織が自発的に集まって情報交換、意見交換を行っている。</p>
<p>相談事業</p>	<p>市民活動に関する一般的な相談、団体の設立や運営等の専門的な相談を基本的な事業として行い、市民活動を支えるセンターとしての役割を担う。 <通年> ○通常相談業務 ○出前相談業務 ○紙上相談(新規)</p>	<p>① 通常相談業務 センター登録団体数179団体、相談件数95件</p> <p>② 出前相談業務 柳沢マーケット(4/14(2件)) 保谷駅前フェスタ(9/22(2件)) こそだてフェスタ(9/30(2件)) NPO市民フェスティバル(1/19・20(2件)) 合計相談件数8件</p> <p>③ 紙上相談(新規) ゆめこらぼ通信にコーナーを設け、相談内容を掲載</p>	<p>① 通常相談業務 相談件数は例年並みで月平均7~8件である。ゆめこらぼが相談を受け付けている事を広報をする必要がある。</p> <p>② 出前相談業務 今後も市民が多く集まる場所への出店を続けていく。</p> <p>③ 紙上相談(新規) ゆめこらぼ通信にて相談を募集。</p> <p>上記①~③を実施した結果、年度当初目標値の1.6倍の相談があった。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
人材、 【団体育成・研修事業】 重点事業	市民参加を促す意識啓発、市民活動に必要な知識の習得、市民活動団体等の立ち上げに向けた支援・育成、協働を推進するための意識啓発を行い、市民活動の人材、団体の育成を図る。 <下半期> ○地域活動・スタート交流会 <通年> ○地域活動紹介ゆめサロンの開催(年2回) ○講座セミナーの開催(年2~3回) ○おとばミディサロンの開催(年に約10回)	① 地域活動紹介ゆめサロンの開催 ○第1回「まちめぐり～芝久保町周辺～」を開催(6/2(15名)) ○第2回「IT利用バーチャルまちめぐり」を開催(11/17(24名)) ② 講座・セミナー ○NPOパワーアップ講座「知って得する！NPO法人と一般社団法人」を開催(10/13(16名)) ○NPOパワーアップ講座「SDGsってなに」を開催(3/31(37名)) ③ おとばミディサロンの開催 ○おとば&ミディサロンを開催(4/19(11名)、5/17(7名)、6/21(11名)、7/19(3名)、8/16(7名)、9/20(6名)、10/18(9名)、11/15(6名)、12/20(10名)、2/21(11名)、3/21(6名))。	① 地域活動紹介ゆめサロンの開催 第1回では居場所をテーマとし、自宅を開放してサロンを開いている実際の現場を見学した。アンケートを回収した全員が楽しく満足に行くもので、普段知ることが出来ない活動を見聞できたことは有意義であったとの感想があり、企画として好評を得た。 第2回はITを利用したバーチャルまちめぐりを開催。子どもプログラミングの実態と練馬区でのUDトーク利用の現状や、IT利用が社会に役立実情等を紹介した。参加者からは為になったとの声が多く寄せられた。 まちめぐりへの参加がきっかけで地域デビューに繋がった市民もいる。 ② 講座・セミナー 団体としての今後の方向性を考える講座を開催し好評を得た。また、3月のパワーアップ講座(SDGs)では多くの新規参加者があった。引き続き、市民の声を反映した講座やセミナーに取り組む必要がある。 ③ おとばミディサロンの開催 仲間づくりや市民活動に関する理解と関心を深めている。また、まちぐりの参加者、ホームページを見ての参加者があり、地域デビューへのアドバイス等を行うことが出来た。 NPO市民フェスティバルの実行委員にもおとば&ミディサロンのメンバーが参加し積極的に運営に携わっている。

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【地域連携重点事業促進事業】</p>	<p>地域課題を解消するために市民活動団体、地縁団体、企業、大学等の学校、市等の公共機関が相互に交流、連携、協働するためのコーディネートを行い、様々な関係者の「つながり」による地域連携の促進を図る。 <上半期> ○協働のまちづくりワークショップ <通年> ○まちづくり円卓会議(年3回) ○地域コミュニティ施策への協力</p>	<p>① 交流事業 ○団体の交流会を開催(1/26(19団体・42名、実行委員10名))</p> <p>② 協働のまちづくりワークショップ ○協働のまちづくりワークショップを開催(7/31(市民・団体:37名、行政職員29名、見学者2名、カメラボランティア1名))</p> <p>③ まちづくり円卓会議 ○テーマ「空き家」まちづくり円卓会議開催(10/27 円卓会議メンバー:9名、参観者:21名) ○テーマ「ひきこもり」まちづくり円卓会議開催(12/1 円卓会議メンバー:9名、参観者:28名)</p> <p>④ 地域コミュニティ支援施策への協力事業 ○南部地域協力ネットワークの総会、定例会に参加(5/16、7/18、9/19、11/21、1/23、3/20) ○中部地域協力ネットワークのモデル会議に参加(12/6、1/23、2/14)</p> <p>⑤ ITによる地域連携(新規) ○UDトークの利用 ゆめこらぼ主催のイベントでUDトークの導入(12/8、1/19・20、3/16、3/30) 団体へのデモ(NIMIC、2/8)</p>	<p>① 交流事業 第10回NP0市民フェスティバル実行委員会主催で参加団体並びに市民活動をする仲間との交流を図った。</p> <p>② 協働のまちづくりワークショップ 講演とワークショップの2部構成で「協働のロケットスタート～地域の暮らしやすさと男女平等の視点～」と題して、講演では男女平等参画の基本と協働による課題解決について学び、ワークショップでは多様な立場の参加者が集まり、それぞれの特性・違いを理解し、お互いの利点を生かした多者協働の可能性を学んだ。</p> <p>③ まちづくり円卓会議 「空き家」では多様立場・視点からの発言により課題を多面的に理解することができた。 「ひきこもり」では会議メンバーに経験者、家族、市民、活動団体、地域包括、行政、社協、公民館とそれぞれの視点から事実や課題を報告し皆で共有した。 2回とも参加者同士の意見交換も活発に行われ、新たな気づきをそれぞれが確認する会議となった。</p> <p>④ 地域コミュニティ支援施策への協力事業 平成32年2月の総会設立を目指し中部地域協力ネットワークが始動。南部地域協力ネットワークの定例会視察や懇親会を開催した。</p> <p>⑤ ITによる地域連携(新規) UDトークの活用により、地域課題を解決する一助となった。 ITによる地域連携を通して、新たな活動団体が立ち上がった。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
施設 の 提 供 及 び そ の 他 事 業	施設や機材の提供を行い、市民活動を支えることでセンターの利用者の増加を図る。 <通年> ○サロンスペースの提供 ○機材の提供 ○登録団体に対し、メールボックス(私書箱)の提供 ○その他の事業	① 施設・機材の貸出・提供 ○サロンスペースの提供 (来訪団体数：1,845団体、来訪者数：2,977名、サロンスペース：1,368名) ○機材の提供 519件 (コピー機：67件、印刷機：230件、紙折り機・裁断機：89件、ラミネーター：68件、AV機材：65件) ○登録団体に対し、メールボックスの提供(101個) ② その他の事業 ○10周年記念事業 今年度のゆめこらぼ発行のチラシと通信に「おかげさまで10周年」のロゴを挿入	① 施設・機材の貸出・提供 プロジェクター等機材及びラミネーターの利用者が増加した。 サロンスペース等の利用者数は月により増減がある。 施設の提供も含め、機材やメールボックスの提供があることの周知を継続していく。 ② その他の事業 ○10周年記念事業 年1回発行の団体紹介冊子に「ゆめこらぼ10周年みなさんからのメッセージ」を掲載した。
運 営 及 び 維 持 管 理	市民の声を反映するため運営委員会を設置する。 事業充実にむけ、研修によるスタッフの資質向上を図る。 運営における維持管理を行う。 <通年> ○運営委員会の開催 ○研修会への参加 ○事業実施に向けたセンター運営及び維持管理	① 運営委員会の開催 (4/17(8名)、5/15(8名)、6/19(6名)、7/17(9名)、9/18(7名)、10/16(9名)、11/20(7名)、12/28(7名)、1/15(5名)、2/19(5名)、3/19(6名)) ② 研修会への参加 (4/26、5/11、5/16、6/2、6/16、6/15、6/30、7/5、7/7、7/12、7/13、7/20、8/21、10/4、10/21、11/21、11/22、11/23、12/8、12/22、1/12、2/15、2/16、3/13) ③ 運営における維持管理(常時)	① 運営委員会の開催 運営委員からの次年度に対する提案や意見を聞くことが出来たので、出来る限り反映させていく。 ② 研修会への参加 事業の企画や団体の支援に活かすための情報を得る目的で講座や勉強会に参加しているが、研修にスタッフが参加している間、センターに駐在するスタッフ数が少なくなる。しかし、スタッフの資質向上が必須なので工夫が必要。 ③ 運営における維持管理(常時) 職員の資質向上及び、事業のサービス向上を目指し、利用しやすいセンターの提供をしていく。